

日帰りハイキングコース

小田急線

1. 明星ガ岳 (924m) 大文字の山から展望の良いのびやかな尾根をたどる。

毎年8月16日に催される箱根の大文字焼きは、夏の風物詩になつている。その大文字のある山が明星ガ岳。古くは箱根御嶽と呼ばれ信仰の山として崇められてきた。明星ガ岳から東南に延びる尾根には、ススキやシノタケの茂るおおらかな道が続き、のどかなハイキングが楽しめる。ここで紹介するのは、この尾根をたどって塔ノ峰に行き、大温泉地の箱根湯本に下りるのんびりコースである。

土産物店の並ぶ強羅駅前から箱根登山鉄道の踏切を渡って強羅坂を下る。途中で前方に大きな明星ガ岳が姿を現し、あの大文字も見られる。強羅坂を下りきると強羅坂下で国道138号線が走っている国道を仙石原方面に進み宮城野橋を渡った所で右に分かれる道に入る。次の分岐は右にとり県立箱根老人ホームを過ぎると左に明星ガ岳登山口への道が分かれている。道標に従ってこの道を5分ほど行けば登山口に達する。階段道をひと登りすると、急な尾根道の登りとなる、急な斜面をジグザグにきりながら高度を上げていく。

本コースで一番きついところだ、やがてシノタケの中を行くと、前方が明るく開け、大文字の横に出る。展望がよく、富士山や箱根の山々が一望できる。私の登った11月5日は紅葉がとても綺麗だった。大文字から明星ガ岳山頂へは右に折れるようにシノタケの中を登っていく。

松の植林の中を通り、主稜線の道に出て右に少し行くと山頂に着く。展望は東側が少し開けているだけで、周囲はシノタケなどで覆われて、休むのにはあまりふさわしくない。

大休止するなら、山頂から塔ノ峰方面にいったん下がって少し登り返した平坦なピークまで行った方がよい。ここなら展望も良く開けて明るくランチタイムにぴったりである。のびやかな尾根道を塔の峰目指してたどりはじめる。登りを交えながらも徐々に高度を下げいく、やがて右に直角に登山道が曲がる。道標に従って右の階段状の道を下り、送電線の鉄塔脇を通るとすぐに舗装された林道に飛び出す。林道を左に進んで、塔の峰の登り口着く。三等三角点のある山頂だが、周囲はうっそうとした樹林が覆っている。南東にのびる尾根道が阿弥陀寺への下山路。はじめは穏やかだが、尾根を離れるとジグザグに斜面を下る。竹林に入れば阿弥陀寺の裏手で、まもなく本堂の前に出る。風格のある本堂は江戸中期の建立だという。阿弥陀寺の参道を下り、箱根湯本駅に向かう。参道の途中で左に分かれる男坂を下って行くと右にベゴニア園が現れる。駅へは左に車道を道なりに行く。

[コース]

強羅駅ー(徒歩30分)ー明星ガ岳登山口ー(徒歩50分)ー大文字ー(徒歩15分)ー明星ガ岳山頂ー徒歩1時間ー林道ー(徒歩30分)ー塔ノ峰ー(徒歩25分)ー阿弥陀寺ー(徒歩35分)ー箱根湯本駅

徒歩時間合計 185分(3.1時間)

2. 明神ガ岳 (1169.1m) 雄大なスロープが広がる箱根外輪山

小田原駅から伊豆箱根鉄道大雄山線に乗り換え、終点の大雄山駅下車駅前から道了尊行きのバスに乗る。駅前には熊にまだがった金太郎の像がある。バスを降りると、茶屋が門前の賑わいを見せている。歩行者用の参道は見事な杉林の道で、開運橋から始まる。相生橋を渡ると、大きな天狗の和合下駄がある。明神橋からが登山道だ。ジグザグにひと登りするとゆるやかな尾根道で、杉木立の根元に石仏が並ぶ。宮城野へ越える道は箱根最古の碓氷道といわれ、日本武尊も越えたと伝える。見晴小屋まで

登ると、足柄平野や丹沢山塊が後方に見え、それから間もなく、見晴らしの良い草原の尾根になる。岩の間から湧き出す神明水で渴きをいやすと、しばし急登。左は直登、右回りの方がいくらか楽だ。この急登を終えると展望は一段と広がる。この先、左下に湧き水がある、涸れることもあるので注意。左へからんで小沢をまたぎ、ほぼ平らなササ原の展望コースになれば、山頂までひと頑張りだ。明神ガ岳の展望はまさに360度。洋上の大島を正面に見て外輪山縦走路に行く。間もなくジグザグの急降下から、ゆるやかな草原の尾根になると、宮城野下降点分岐の鞍部だ。ここからジグザグに下る。緩やかになると、ハコネダケのトンネルを抜け、別荘分譲地へ出る。ここからさらに下って行けば、間もなく宮城野に出る。

[コースガイド]

新宿駅－（小田急線急行1時間25分）－新松田駅－（箱根登山鉄道バス20分）－関本－（伊豆箱根鉄道バス10分）－道了尊－（徒歩60分）－見晴小屋－（徒歩30分）－神明水－（徒歩1時間10分）－明神ガ岳－（徒歩40分）－宮城野下降点分岐－（徒歩60分）－宮城野支所前－（箱根登山鉄道バス40分）－小田原駅－（小田急線急行1時間35分）－新宿駅

徒歩時間合計 260分（4.4時間）

3. 金時山 (1212.5m) 箱根外輪山の名峰

小田原駅前から桃源台、湖尻方面行きバスを仙石バス停で降り。金時神社入口で旧道に入る。上流の橋を渡ると新装なった鳥居と参道で、金時山がご神体のように後方にそびえる。

新しい立派な神社に参拝したら、右脇の登山道に入ろう。桧林の道は参道の面影が漂い、しばらく行くと坂田公時の碑をそしてほどなく金時手鞠石を見る。林道を横切って右へ少し入ったところに、蹴落石の上に小石祠と大まさかりが奉納された奥の院がある。登山道に戻って少しの登りで宿石。2つに割れた巨大な巨岩だ。この岩の裏から巻き道になり、間もなくジグザグの急登。やがて振り返る麓に仙石原と芦ノ湖が広がり、金時山が間近に仰がれると、間もなく外輪山の尾根道に飛び出す。もうひと頑張りしてブナ林を登れば頂上だ。目前の富士山が大きい。下には仙石ゴルフ場や大箱根ゴルフ場などが見える。金時山の下りは険しい、ハシゴやクサリのある急降下などで、足元には充分注意して下りよう。20分ほどでなだらかな林道に出る。振り返ると金時山がのしかかるように見える。ゆるやかなピークに登ると、明神ガ岳や富士の眺めがよい夕日の滝、足柄峠分岐。富士に別れを告げれば、気持ちの良い尾根歩きが始まる。やがて、ほの暗い桧林を下ると沢沿いに、左岸右岸と渡り返して高巻道をたどると、夕日の滝の音が下から聞こえてくる。美しい夕日の滝は、夏には大賑わいのキャンプ場の奥にある。遊び石広場で太鼓石と兜石を見れば、間もなく地藏堂バス停だ。バス停のそばに、うまいそば屋がある。

[コースガイド]

新宿駅－（小田急線急行1時間30分）小田原駅－（箱根登山鉄道バス40分）－仙石バス停－（徒歩15分）－金時神社入り口－（徒歩30分）－奥の院－（徒歩35分）－縦走路－（徒歩25分）－金時山－（徒歩30分）－夕日の滝・足柄峠分岐－（徒歩1時間20分）－夕日の滝－（徒歩15分）－地藏堂バス停－（箱根登山鉄道バス20分）－関本－（箱根登山鉄道バス20分）－新松田駅－（小田急線急行1時間25分）－新宿駅

徒歩時間合計 230分（3.9時間）

4. シダング山 (758.1m) 丹沢の山々の展望が素晴らしい

新松田の駅から右手のガードをくぐりJRの松田駅前広場より寄(ヤトリギ)行きのバスに乗り30分ほどで終点の寄に着く、すぐそばの中津川にかかる大寺橋を渡り舗装された、やや登りの道を集落へと入って行く。舗装された道は、公民館の所から狭くなる。右に茶畑を見ながらトイレと休憩所の施設の前を過ぎ、案内板の有るところから、道はさらに狭くなり急坂の登りになる。左にカーブして鹿除けのフェンスの所で舗装も終わり山道になる。フェンスの鍵は開けたら、閉めるのを忘れずに。植林の中の急登で山腹を進むと、山頂へ950mの標識がある。桧の林の中をしばらく登るとシダング山の山頂に着く。展望は360度丹沢の山々が間近に。富士山がその山並の左に大きく見える。山頂には小さな祠が有る。ゆっくり休んだら下りにかかろう。間もなく左への宮地山方面に向かう道に入る。宮地山入り口までは植林の中のわりと平坦な道だ。宮地山へは左へ入り木の階段がところどころにある登りだ。頂上は草原状で、シダング山、高松山、太平洋クラブ相模コースのゴルフ場が見える。往路を戻って舗装された道を下って行く。田代橋を渡ると田代向のバス停がある。

[コースガイド]

新宿駅－(小田急線急行1時間20分)新松田駅－(徒歩5分)－JR松田駅－(富士急バス30分)－寄－(徒歩1時間20分)－シダング山－(徒歩2時間)－宮地山－(徒歩1時間)－田代向バス停－(富士急バス25分)－新松田駅－(小田急線急行1時間20分)－新宿駅

徒歩時間合計 180分(3時間)

5. 高松山 (801.4m)

新松田駅前から山北か中川温泉方面行きバスで高松山入り口下車。上の台橋を渡って東名高速道路をくぐる。道路沿いにミカン畑をジグザグに登る。尾根上に出ると箱根の山並みと東名の曲線が望める。舗装された農道を登るほどに背後の箱根の山と足柄平野が大きく広がり、突き当たりでは富士山が望まれる。ここから本格的な山道になり、ヒノキと杉や雑木林の尾根沿いに登る。深山を思わせるただずまいだ。巻き道の登りになると間もなく小尾根上に出る。ここからピリ堂までゆるやかな気持ちの良い道である。尾根上の鞍部に出ると大きな杉の根元に馬頭観音が二つ立つピリ堂である。これからはしばらくの間急登にな。ヒノキ林を左にからむようになればすぐに稜線。高松山山頂へは5分ばかりである。山頂は樹林に囲まれて展望はほとんど無い。草原の山頂からしばしの急降下ですばらしい尾根道になる。富士、箱根、丹沢の眺めが良く、コースのハイライトだ。ほの暗いヒノキ林から道は稜線をそれて明るい農道になる。舗装道路になると高松の開拓集落に入る。ここから高松山入り口までは1時間15分ほど。高松橋を渡り尺里川に沿って下り、東名高速をくぐり出発点に戻る。

[コース]

新宿駅－(小田急線急行1時間20分)－新松田駅－(バス10分)－高松山入り口－(徒歩40分)－舗装農道終点－(徒歩50分)－ピリ堂－(徒歩30分)－高松山－(徒歩30分)－尺里峠－(徒歩15分)－高松開拓集落－(徒歩1時間15分)－高松山入り口－(バス10分)－新松田駅－(小田急急行1時間20分)－新宿駅

[地図へ](#)

徒歩時間合計 240分(4時間)

6. 不老山 (928m)

新松田駅前から中川温泉方面行きのバスで山市場下車。じきにボウズクリノ滝が見え、すぐに不老山入り口がある。つり橋を渡って茶畑と物置小屋の間から登り出す。ジグザグに登って左へからむと涸れ沢を横切って分岐点の大安戸。左は火打沢沿いに登る荒れた道だ。尾根の方へ登りスギ林に入って左へ巻きヒノキ林を抜けると視界が開ける。番ガ平の南面をからんで火打沢の踏み跡を合わせると、ほんのひと登りで展望が広がる稜線歩きになる。丹沢の山並みを背に富士山や矢倉岳から連なる箱根の山々を眺めながら、小さなピークを上下して不老山山頂に出る。頂上は丹沢山塊が目前に広がり、眼下に丹沢湖が一望のもと。去り難い山頂をあとにすると富士山が見えてきて駿河小山への分岐緩やかな道に入るとすぐに生土経由の道を分け、ついで柳島経由の道も分けて、スギとマツの植林帯を下って行く。明るい雑木林もあり森林浴ができる尾根道歩きだ。やがて林道に出る。送電塔の所まで来れば、すぐ先が下降分岐点。

林道通しに金時公園へも行けるが小さな指導標に従って、気持ちの良い尾根道に入る。小尾根を下り送電塔から明るい道で、富士を正面にして下る。また林道に出ると指導標は林道経由を指しているが尾根通しの方が近い。貯水池下まで下ると放水溝を渡って車道歩きになる。金時屋敷跡の金時公園に立ち寄ろう。

[コース]

新宿駅－（小田急線急行1時間20分）－新松田駅－（バス35分）－山市場－（徒歩40分）－大安戸－（徒歩1時間）－番ガ平－（徒歩1時間）－不老山－（徒歩1時間）－下降分岐点－（徒歩20分）－貯水池下－（徒歩20分）－金時公園－（徒歩25分）－駿河小山駅－（JR御殿場線）－（JR松田駅）－乗り換え－新松田駅－（小田急線急行1時間20分）－新宿駅

徒歩時間合計 285分（4.8時間）

7. 大野山 (723m) 丹沢湖から富士山が間近に

新松田駅からすぐ前のJR松田駅で乗り換え山北駅にて下車する。線路沿いに歩き、車道をしばらく行くとトンネルがある。抜けると右に大野山入り口だ。東名高速の下を進むと道が二股に分かれるそこが大野山登山口そこを右にとり、古宿経由の舗装された登りの道を行くと鍛冶屋敷の集落を過ぎ急坂を登りきると、立派な共和小学校の角に出る。右に曲がる、しばらく平坦な道が続くと右に大野山への登山道がある。樹林の中のよく踏まれた道が続いている。眺めはあまりきかないが、適度な登りだ樹林を抜けると視界が一度に開けて、ここから短いながらも急な登りになる。山上の広い道に出ると、大野山山頂はもうすぐだ。山頂は一面草原で県営牧場になっている。建物などがあり、自然の山頂という感じはしないが。展望は左に富士山、足元には丹沢湖が見える。あずま屋があり、ゆっくりと休める。下りは頂上の電波塔の間を過ぎて、牧場の柵に沿って下る。やがて、深沢からくる大野山林道を横切りすぐ先で尾根道と離れ右に下れば、小畑を過ぎ、車道に出たらこれを左に折れると野背開戸の人家が現れる。その先で道標に従って右への細道に入って茶畑を通り山を下ると嵐の集落に着く。酒匂川は近く右折して坂道を下りきると、左岸沿いの車道に出る。谷峨駅を対岸に見ながら左に進み、青色の橋を渡って川原を横切り谷峨駅に着く御殿場線で松田駅まで戻り、小田急線新松田駅から新宿駅にもどる。

[コース]

新宿駅－（小田急線）－新松田駅－（御殿場線）－山北駅－（徒歩20分）－大野山入口－（徒歩30）

—鍛冶屋敷—（徒歩20分）—共和小学校—（徒歩10分）—地蔵岩下—（徒歩60分）—イヌクビリー
（徒歩10分）—大野山—（徒歩25分）—十字路—（徒歩10分）—野背開戸—（徒歩15分）—嵐—
（徒歩20分）—谷峨駅

徒歩時間合計 220分（3.7時間）

8. 鍋割山（1272.5m） 草原の山頂から眺める丹沢の山々の素晴らしさ

渋沢駅で下車すると、これから登る丹沢の山々がそびえて見える。駅前より大倉まではバスに乗る。

食堂や土産物店のあるバス停で降りると。登山届けのBOXがあるので、投入しておきましょう。左手に県民の森、二俣方面への指導標がある。植林を抜けて西山林道に出ると丹沢大山国定公園の大きな表示板が立っているこれを右にとり沢沿い（四十八瀬川）の林道をゆるく登って行くと、県民の森入り口だ、次の林道二股で右に登る、丹沢山塊の開拓者、尾関広氏の胸像を見て、勤七ノ沢の駐車場に着く。勤七ノ沢を渡り、訓練所尾根を裏へ回り、本沢沿いになる。ミズヒノ沢をさかのぼる。堰堤を二つほど越して右岸に渡り、ハシゴを取り付けた涸沢に入ると、道は沢より離れ、暗い杉林の尾根の急登をジグザグに登るようになる。途中高年の夫婦ずれの下山者に逢う塔ノ岳の山小屋に一泊して鍋割山経由で下りてきたのだと聞く。ゆっくりと登り詰めて後沢乗越に着く、やせた鞍部だ。鍋割山へはここから右に一本調子の登りが続く。樹林が開けると、明るい草原の尾根を登るようになる。中年のご婦人の下山者に逢う家内と同じトレッキングシューズを履いているので、ちょっと立ち話をする。一ノ萱、二ノ萱の小さなピークを越えると、広々とした鍋割山山頂に着く。山頂の一角には鍋割山荘がある。蛭ガ岳から檜洞丸と続く丹沢の山々が眼前に富士、箱根連山も一望のもとだ帰路は東に続く鍋割山稜をたどり小丸、大丸から金冷やしで塔ノ岳から来た道と合流して。大倉尾根をひたすら大倉バス停目指して下る。途中日が暮れてライトのお世話になった。バス停に着いたのがPM5:20になっていた。

[コース]

新宿駅—（小田急線急行1時間15分）—渋沢駅—（バス15分）—大倉バス停—（徒歩20分）—
西山林道—（徒歩60分）—勤七ノ沢—（徒歩1時間30分）—後沢乗越—（徒歩1時間20分）—鍋割山
—（徒歩30分）—小丸—徒歩30分—金冷シ—（徒歩2時間）—大倉バス停—（バス15分）—渋沢駅
—（小田急線急行1時間15分）—新宿駅

徒歩時間合計 430分（7.2時間）

9. 大山(1252m) 表参道からヤビツ峠へ

伊勢原駅の北口から大山ケーブル行きのバスに乗る。次第に山間部にはいって鈴川沿いに登って行く。終点からケーブル駅までは、表参道を15分ほど歩く。雲居橋を渡り、追分駅入り口のすぐ上で道は男坂と女坂に分かれる。左の女坂を登る、石段と坂道を交互に歩くうちにようやく人家は尽きて真玉橋を渡るとやがて大山寺に出るここにある本尊の不動明王と前立2童子の像はともに鎌倉時代の作として国の重要文化財に指定されている。大山寺を過ぎ、橋を渡って急な石段を登るとまもなく右からさきの男坂が合流し、すぐ先で日向薬師へのコースが分かれる。下社まではもうわずかで、ケーブル終点（下社駅）入り口や茶店の、参集殿の前を通り、石段を上りきったところにある。標高700mの地点に建つ阿夫利神社は、社伝によれば、そもそもの創立は10代の崇神天皇のときというから、今から2200年ぐらい前のことになる長い間武家政権の保護を受け、又庶民の信仰も集めたが、とくに江戸時代は関東一円から講中をつくっての参拝が盛んだっらしい。

厳肅な環境のなかにある拝殿でお参りを終え、展望を楽しんだら山頂に向かおう。コースは2通りあるが、本坂経由の道を登ろう、拝殿の左方の天満宮の左手にある石段を登るのである。

この石段は急でしかも長いために疲れるが、その変わり高度は一気にかせげるのが助かる。途中には2丁目とか五丁目とか、丁目を知らせる木柱や石標がところどころにあり、それを見ながら喘ぎつつ登るのである左にヤビツ峠への道が下がっていけばもう頂上は近い、そのすぐ手前に鳥居がある。頂上は阿夫利神社の本社を中心に「お鉢めぐり」と称する一周路もある。また本社の社前にあるブナの大木は「雨ごいの神木」で、これにより雨降り山（大山の別名）とか阿夫利神社の名が生まれたのだろう。展望は雄大で、富士、箱根連山、丹沢では表尾根の稜線や塔ノ岳、丹沢山、蛭ヶ岳、丹沢三ツ峰など、さらに道志、秩父多摩の山々、そして相模平野のかなたに三浦、房総半島までが望まれる。下りは、さきに記したヤビツ分岐まで戻り、表参道と分かれて右下に続く通称イタズミ尾根をたどる。始めの内はウツギやスズタケの間を縫いながら下るが、春岳山（960m）で門戸口方面へ小尾根が派生していくのを見て左に折れ、赤土の露出した稜線を進めば、あとはマツやヒノキなどの針葉樹林にはさまれた幅広い防火帯をたどっていけばよい。やがて峠のすぐ上にあるヤビツ山荘が現れる。バスは、ヤビツ峠の頂上から出ているが回数が少ないから、山麓の蓑毛まで歩くと約30分おきに出て便利だ。その場合は、遠回りの道は避け、峠の南側から左折する柏木林道を下るとよい。最初は尾根の中腹部をまき気味に進むが、そのうちにつづら折りの急坂と変わりそれが終わると春岳沢を左岸に渡った後、大山裏参道を左から合わせて蓑毛橋際のバス停に出てくる。

[コース]

伊勢原駅ー（バス22分）ー大山ケーブルー（徒歩15分）ー追分ー（徒歩20分）ー大山寺ー（徒歩20分）ー阿夫利神社下社ー（徒歩45分）ー16丁目ー（徒歩35分）ー大山ー（徒歩45分）ーヤビツ峠ー（徒歩50分）ー蓑毛ー（バス16分）ー秦野駅

徒歩時間合計 230分（3.8時間）

10. 弘法山

鶴巻温泉駅の改札を出ると案内板があるので、よく見てから出掛けよう、温泉街を抜け、東名高速道路をくぐり住宅地脇からすぐ山道になる。雑木林の道は、もう自然の中でほんのひと登りで、尾根上に出る。ここから小さな丘陵帯の上をたどる。桜の木に囲まれたベンチとあずま屋のある吾妻山に着く。右手には住宅地が迫っている、善波峠への分岐を見送り、わずかな急登で気持ちの良い尾根道に出る。ミカン畑を過ぎると弘法山への登りだ。大銀杏の所まで登れば頂上で、お堂と鐘楼が立ち、ベンチとテーブルがあるので、お弁当に最適地です。少し下ると車道に出合い桜並木の道に行く。権現山へはひと登り。広い頂上にはコンクリート造りの動物やブランコなどがあり、公園になっている。下りは関東ふれあいの道をたどり、バス通りへ下り。街中をたどり秦野駅へ。

[コース]

新宿駅ー（小田急線急行1時間5分）ー鶴巻温泉駅ー（徒歩30分）ー吾妻山ー（徒歩1時間）ー弘法山ー（徒歩20分）ー権現山ー（徒歩25分）ー室川橋バス停ー（バス25分）ー秦野駅

徒歩時間合計 135分（2.3時間）

1 1. 湯坂路 すすきの箱根古道をたどる

小田原駅から元箱根行き、あるいは関所跡行きのバスに乗り、約40分で湯坂路入り口で下車する。コースの入り口は小田原寄りに少し戻った所で、大きな標柱と案内図がある。入ってすぐに飛龍ノ滝・畑宿への分岐を見送り、ススキの繁る丘陵地帯を行く。左手遠方に明神ガ岳や明星ガ岳、近くに二子山などが望める。のどかな道である。15分ほどで草原の鷹巣山に着く。ここは豊臣秀吉の小田原攻めに備えて後北条氏が城を築いた所だけあって展望が良い。鷹巣山からは丸太の段・石畳の急な下りになる。下り切って林道を横断すると千条ノ滝、小涌谷への分岐に出る。ここから、今度はススキの中の登り。幅広い防火帯で、草原の楽しい道となる。すぐに宮ノ下・小涌谷の分岐だ。ベンチのある所から右に大きカーブした先が浅間山である。山頂というよりは広い草原で展望も良く、お弁当に最適地だ。

浅間山からは、ほとんど下り一方。右に箱根の山々、左に小田原方面を木立の間から眺めながら、草花の多い山道を下って行く。昔のままの山道である間もなく標高543mの湯坂山だ、石畳の道を下り、湯坂城跡に着く。木立の間から旅館の屋根や道路が見えてからも、しばらく石畳の下りが続く。下りきると旭橋近くの国道に出る。右に歩けば箱根湯本駅近い。

[コース]

小田原駅－(バス40分)－湯坂路入口－(徒歩15分)－鷹巣山－(徒歩20分)－浅間山－徒歩1時間15分)－湯坂山城跡－徒歩30分)－箱根湯本駅

徒歩時間合計 140分(2.3時間)

1 2. 矢倉岳 (870m)

新松田駅前から関本行きバスに乗り、終点で地蔵堂行きに乗り換える。矢倉沢バス停で降り、切り通しを抜け杉やイチョウなどの大木が茂る白山神社で、今日の山の安全を祈って出発しよう。ここからはミカン畑で、舗装された農道を登る、茶畑の直登で丹沢の山並みが見え始める。給水タンクのあたりでは丹沢の山塊の眺めが素晴らしい。ここから道は細くなり、物置小屋のすぐ上で山道になるほどの暗いスギの植林帯で、ジグザグの道が続く。雑木林のゆるやかな尾根から、急登の連続になる。灌木帯に入り、その中にマツが点在するようになると、道はゆるやかになって頂上は近い。カヤトの原が広がる矢倉岳山頂は、富士、箱根の山々、丹沢山塊、そして三浦半島から房総半島と大パノラマが展開する。広い草原の山頂で休んだら下りにかかる。ひと下りすると清水越え。洒水の滝と21世紀の森への道を見送り稜線を行く。

次のピークからは稜線の左側を巻いて登り気味に進む。ヒノキ林からマツ林になると、矢倉岳が背後にそびえて見える。万葉広場の指導標があり、足柄万葉公園は稜線沿いにある。舗装道路から関所跡、聖天堂を見て足柄峠に出る。ゆっくり景色を楽しんだら足柄古道口から地蔵堂バス停へ下ろう。

[コース]

新宿駅－(小田急線急行1時間20分)－新松田駅－(バス20分)－関本バス停－(バス15分)－矢倉沢バス停－(徒歩10分)－白山神社－(徒歩1時間50分)－矢倉岳－(徒歩15分)－清水越え－(徒歩50分)－万葉広場－(徒歩20分)－足柄峠－(徒歩50分)－地蔵堂－(バス20分)－関本－(バス20分)－新松田駅－(小田急線急行1時間20分)－新宿駅

[地図へ](#)

徒歩時間合計 270分(4.5時間)